

は じ め に



安城市では、平成16年度に第1次地域福祉計画、平成20年度に第2次地域福祉計画を策定し、市民の皆さまや、社会福祉協議会と力を合わせ、地域福祉を推進してまいりました。

このたび、第2次地域福祉計画が期間満了となることに伴い、引き続き地域福祉を推進するため、第3次地域福祉計画を策定いたしました。

現在、市内に72の町内福祉委員会が設立され、それぞれの地域特性に応じた見守り活動や災害時への対応など活発な活動が展開されています。

しかしながら、地域においては、ひとり暮らし高齢者の増加や地域コミュニティの希薄化などに伴い、支え合いの力が弱くなり、子育て家庭の孤立や児童虐待、高齢者等の孤立死などの発生が憂慮されています。

そうした中で、孤立死を出さないまちづくりを目指して、平成23～24年度に「地域見守り活動モデル事業」を実施し、平成25年度からは「地域見守り活動推進事業」として市内全域への展開を進め、現在30町内福祉委員会において取り組んでいただいております。この活動のほかサロンなどの交流活動や介護教室等の学習活動などを通じて、地域での絆の構築や支え合いを強化していく地域福祉活動を推進しています。

この計画の基本理念である「大きく広がれ福祉の輪 みんなで支える地域の輪」を実現するために、今後5年間の推進テーマとして「相談してみよう お願いしてみよう お互いさまの地域づくり」を掲げるとともに、4つの重点施策を定めています。

特に、さまざまな課題を解決し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていただける地域社会を実現するために、住民と市や社会福祉協議会、NPO、福祉事業者が連携し、地域づくりに主体的に活動することが大切となります。このため、市民の皆さまのご協力をいただきながら、温かく支え合う地域社会の構築に向けて、取り組んでまいります。

最後に、計画の策定にあたりまして、策定協議会の委員をはじめ、地域会議及び関係団体・福祉事業者会議の皆さま、関係各位にご協力いただき、心よりお礼申し上げます。

平成26年3月

安城市長

神谷 学